

学認対応IdPホスティングサービスについて ～実証実験経過報告～

NII オープンフォーラム2025

2025.6.18

国立情報学研究所

トラスト・デジタルID基盤研究開発センター

アーキテクチャ科学研究系

清水 さや子

背景

- **学認（GakuNin）を活用するサービスの広がり**
 - GakuNin RDM、学認LMSなどの整備が進む
 - IdP導入の必要性が高まっている
- **学認未参加機関が多数**
 - 本件検討開始時（2022年1月）の参加機関数は278機関
 - 全参加可能機関数の約1/3にとどまる
- **学認未参加の理由調査**
 - 参考URL <https://www.gakunin.jp/document/684>
（ SINET参加機関を対象としたアンケート, 2022.10）
- **大半が、 IdP（Identity Provider）構築・運用のハードル**
 - 人力的な問題（運用する人材、参加検討する人材の不足）
 - 技術的な問題（サーバの構築や運用ができないなど）
 - 金銭的な問題

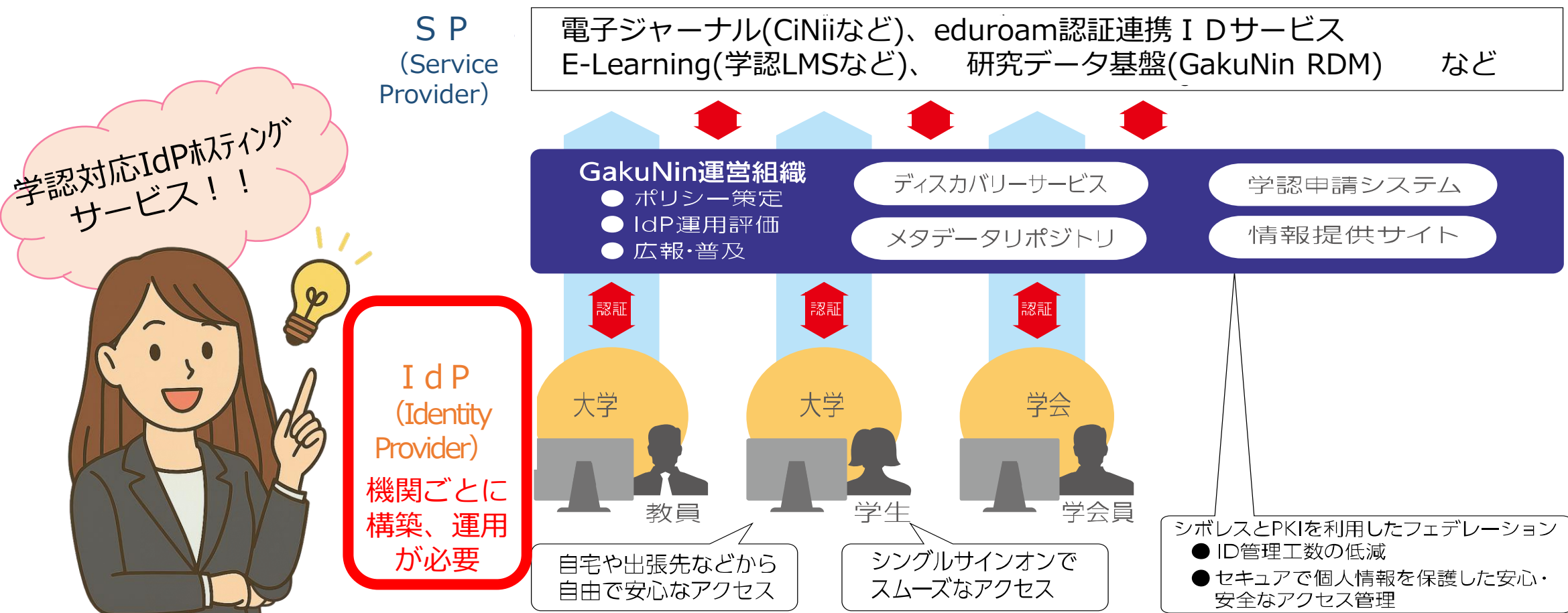
など

目的

- **日本の学術界の認証レベルを上げる**
 - 学術界の全ての人が高度な認証ができるように
- **学認の参加機関を増やす**
 - 認証レベルを上げるために、学認参加機関を増やす
- **学認参加の際の障壁を下げるためのサポートを行う**
 - 学認参加の障壁の一つであるIdPを貸出すサービス（IDaaS）
「学認対応IdPホスティングサービス」を検討（2022年度より）
 - 2023年3月より実証実験開始
 - 実証実験 2023（期間：2023.3～2025.3）
 - 実証実験 2024（期間：2024.8～2026.3）
 - 実証実験の目的：
 - サービス全般と参加機関における課題を分析
 - 参加機関の効率化、及び、サービスの利便性・安定稼働性が有用であることの確認

学認とは！？

- 所属機関が発行するアカウントを用いて、学外の情報リソースにアクセスするための認証連携のフレームワーク



学認対応IdPホスティングサービス実証実験概要

名称	機関数	総 ID 数	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
実証実験 2023	10	約20,000	準備期間	提供期間			
実証実験 2024	38	約60,000			準備期間	提供期間	

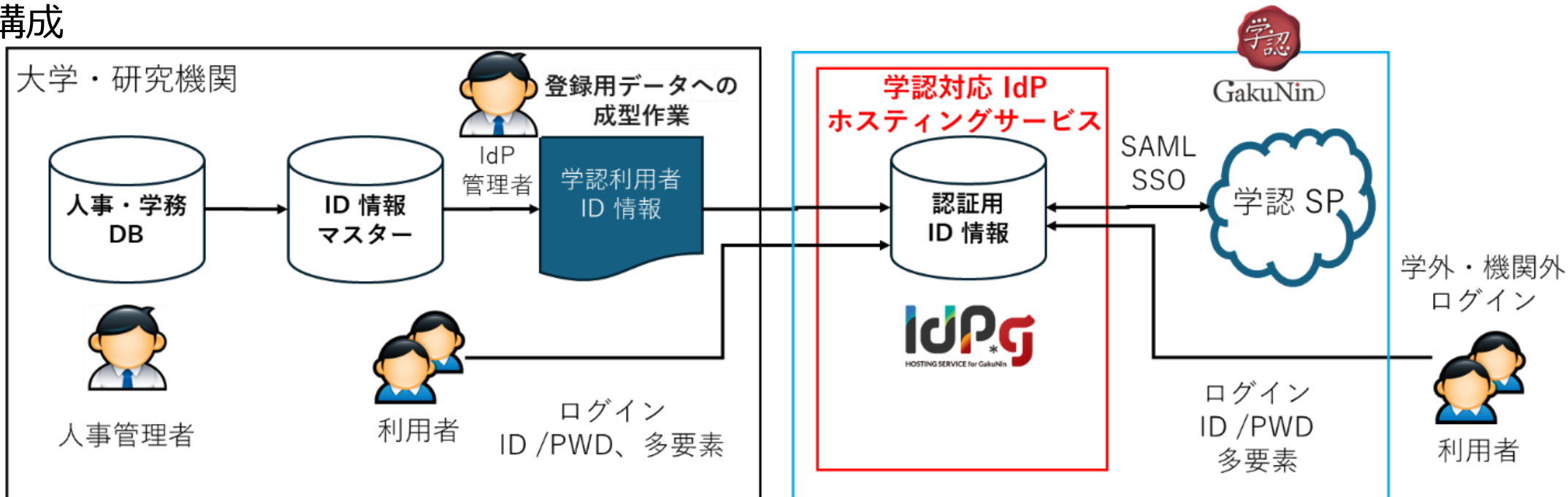
対象は、学認への参加を希望している機関の方（学認参加済でIDaaS検討中の機関の方もOK）で、人員・コスト不足などにより IdP の構築や運用が困難である機関

学認対応IdPホスティングサービス実証実験の主な概要：

- 学認対応IdPをIDaaSとして提供（24時間365日監視、脆弱性対応などサービス側で実施）
 - サーバの構築不要、専門知識不要で、IdPが利用可に☆
 - ハードウェア、ソフトウェア不要で、日々のメンテナンス不要に☆
- IDaaSに加えて、各種支援付き（学認参加の支援、初回ユーザ登録支援、SP登録支援など）
 - 複雑な申請や設定に関するサポートがあるので安心☆
- 費用：無料（IdP ホスティングサービスの提供範囲において、実証実験期間中の費用はNIIが負担）

基本的な構成と支援サービス

• 構成



• 各種支援サービス：

- 利用機関に対するサポート窓口の設置
- IdPホスティングサービスへの初回アカウント登録支援（2回目以降は機関側で対応）
- IdPホスティングサービスの設定操作の支援
- 学認に関するメタデータの登録支援
- 学認参加手続きに関する支援
- SP接続時の設定支援（5つまで。6SP以降は機関側にて対応）
- 学認参加IdP運用状況調査（年に1度の学認実施要領等の準拠確認のための調査）の回答支援

実証実験 2023 の終了（2025.3末）

- 全参加機関において実証実験で提供したIDaaS（Extic）を継続
 - 予算は自機関で対応
 - 登録アカウント数は実証実験時から減少無し
 - 利用SPについても減少無しで利用
- 継続において、技術的な大きな問題は発生なし
 - 別IDaaSへの移行やオンプレへ移行した機関は無しだったからか？
- 現在、実証実験終了体制に向けた各機関の対応、課題調査
 - IdPの必要性が理解され、予算処置してもらうには、相応の「準備期間」が必要（もう一年欲しかった）
 - 実際の運用が約1年だけで、終了後の予算確保に進まなければならない、学内に必要性を訴えるのがとても大変だった
 - 機関の規模が小規模機関になるほど、予算確保が厳しい
 - IdPだけ切り離して予算確保することは難しい（説明ができない）
 - 全学システムリプレイス時に合わせてしまえるといいが、そんなにうまく時期が合わない など

実証実験 2024 の参加状況

- 利用機関数：38機関
 - 参加機関数（IdP数）：33 IdP
 - 参加機関数はIdPの数
 - 法人ごとにIdPを構築し（1法人4機関、1法人2機関）参加している機関があるため、利用機関数と異なる
 - うち、学認参加済機関数は6機関
 - うち、2機関は既存Idp並行稼働、4機関はIDaaSへ移行済み
- 総 ID 数：約60,000 ID
- IDaaSは、ExticとSessionsLinkを利用
 - 参加IdPごとにIDaaSを選択
- 参考：
 - 実証実験2024の募集に伴う問合せ（申込含む）機関数は、58機関でした
 - お問合せくださいました皆様、ありがとうございました



参加機関の詳細（Extic利用機関）

- EXTIC利用：17件
 - うち、学認新規参加 16件
- 総ID数：約30,000
- 外部IdP連携利用（Entra ID）：8件
- 外部IdP連携利用（OneLogin）：2件
- UPKI証明書利用 13件
 - うち、UPKI新規参加 3件

	機関名称	利用者数	運用開始
1	H大学	2,200	2024年12月ごろ
2	K大学	5,500	2024年11月ごろ
3	K大学	2,600	2025年1月ごろ
4	N大学	1,000	2024年12月ごろ
5	K大学	1,000	2024年12月ごろ
6	N大学	2,000	2024年12月ごろ
7	F大学	1,250	2024年12月ごろ
8	S大学	300	2025年1月ごろ
9	Kセンター	700	2025年3月ごろ
10	N大学	3,000	2025年3月ごろ
11	K大学	1,840	2025年3月ごろ
12	T大学	1,200	2025年3月ごろ
13	K大学	500	2025年3月ごろ
14	K大学	650	2025年3月ごろ
15	K大学	2,000	2025年3月ごろ
16	S大学	70	2025年3月ごろ
17	K大学	200	2025年3月ごろ

参加機関の詳細（SeciossLink利用機関）

- SeciossLink利用：16件
 - うち学認新規参加：11件
- 総ID数：約30,000
- 外部IdP連携(EntraID)：7件
- 外部IdP連携(Google)：2件
- UPKI証明書利用：11件
 - うち、UPKI新規参加 1件
- LDAP連携4件
- AD連携2件

	機関名称	利用者数	運用開始
1	N大学	1,500	2024年12月ごろ
2	O大学	4,000	2024年11月ごろ
3	F学園	400	2024年11月ごろ
4	O大学	800	2025年02月ごろ
5	I大学	1,100	2024年11月ごろ
6	K館	300	2024年11月ごろ
7	H大学	4,300	2024年11月ごろ
8	A大学	2,000	2025年02月ごろ
9	J大学	5,000	2024年12月ごろ
10	N大学	900	2024年12月ごろ
11	B機構	100	2025年3月ごろ
12	S大学	5,000	2025年3月ごろ
13	H大学	850	2025年3月ごろ
14	N大学	2,500	2025年3月ごろ
15	Kセンター	35	2025年3月ごろ
16	N大学	2,500	2025年3月ごろ

SP (Service Provider) 設定リスト (多い順)

実証実験2023

順位	サービス名	件数
1	GakuNinRDM	7
2	FileSender	5
2	eduroam認証連携IDサービス	5
2	学認LMS	5
5	CiNiiResearch	4
5	学認クラウドゲートウェイ	4
7	ElsevierScienceDirect&Scopus	2
7	ジャパンナレッジLib	2
7	researchmap	2

実証実験2024

順位	サービス名	件数
1	GakuNinRDM	22
2	eduroam認証連携IDサービス	14
2	FileSender	14
4	CiNiiResearch	9
5	ElsevierScienceDirect&Scopus	8
5	学認LMS	8
7	ジャパンナレッジLib	7
8	メディカルオンライン	6
8	学認クラウドゲートウェイ	6
10	MaruzeneBookLibrary	5
10	医中誌Web	5
12	ProQuest	4
13	KinoDen	3
13	researchmap	3
13	WILEYONLINELIBRARY	3

SP設定リスト(多い順) 実証実験2023,2024トータル

順位	サービス名	件数
1	GakuNinRDM	29
2	FileSender	19
2	eduroam認証連携IDサービス	19
4	CiNiiResearch	13
4	学認LMS	13
6	学認クラウドゲートウェイ	10
6	ElsevierScienceDirect&Scopus	10
8	ジャパンナレッジLib	9
9	医中誌Web	6
9	メディカルオンライン	6
11	MaruzeneBookLibrary	5
11	researchmap	5
13	ProQuest	4
13	WILEYONLINELIBRARY	4
15	EBSCO	3
15	KinoDen	3

17	ORCiD	2
17	ScienceDirect	2
17	TaylorandFrancisOnline	2
17	大学共同参加求人検索NAVI	2
17	eduroamJP申請システム	2
17	NatureResearch	2
17	Ovid	2
17	SpringerLink	2
17	ORCiD	2
17	ScienceDirect	2
17	TaylorandFrancisOnline	2
17	大学共同参加求人検索NAVI	2
17	eduroamJP申請システム	2
17	NatureResearch	2
17	Ovid	2
17	SpringerLink	2

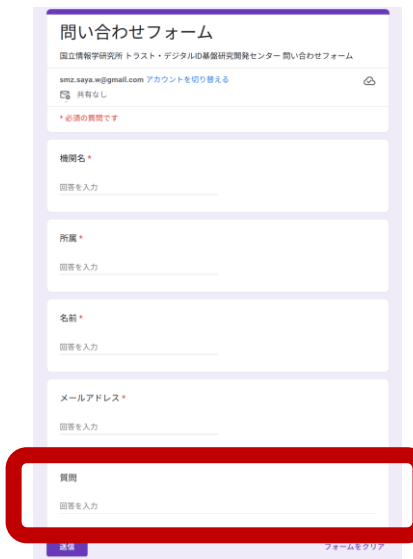
IdPホスティングサービスの今後の動き

- 実証実験2023について
 - 実証実験2023の評価および共有
 - 終了後のサポート（随時）
- 実証実験2024の運用
 - 2025年4月～ 全機関運用開始、運用に伴うサポート
 - 2025年7月 ユーザ会開催予定
 - 実証実験2024の中間評価
 - 終了に向けたサポート
- 上記を元に、IdPホスティングサービスの事業化に向けた検討
- 派生課題に対する検討：
 - a. 自機関外(学認未参加機関所属)の研究者とSP（GRDMなど）を利用したい
 - b. 機関異動時（IdP変更時）に、遅延なくSP（GRDMなど）を継続利用したい

みなさまへお願い

- IdPホスティングサービスに関するご意見、ご要望をお聞かせくださいますと幸いです。

国立情報学研究所
トラスト・デジタルID基盤研究開発センター
お問い合わせフォーム



お問い合わせフォーム
国立情報学研究所 トラスト・デジタルID基盤研究開発センター お問い合わせフォーム
sns.saya-w@gmail.com アカウントを切り替える
共有なし
* 必須の欄です

機関名 *
回答を入力

所属 *
回答を入力

名前 *
回答を入力

メールアドレス *
回答を入力

質問
回答を入力

送信 フォームをクリア

「質問」欄に、
「IdP Hの件」と書いて、
ご意見、ご要望をご入力
ください

